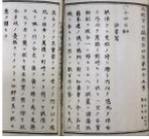


埼玉県立文書館のデジタル資料の活用例

時間	○学習活動 ・ 学習内容	「 」主な発問 ・ 指導上の留意点
10分	○廃藩置県が行われた当時の埼玉県の様子を文書館の資料から調べる。	資料【01-廃藩置県（行政文書 明26）.pdf】
	「これは明治政府から出された通達です。何の通達でしょうか。」	
	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃藩置県 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1ページ目後ろから4行目の「藩ヲ廃シ縣ト為ス」に注目させ、廃藩置県の通達であることを捉えられるようにする。
	「廃藩置県が行われて、何の県が誕生しましたか。」	
 <ul style="list-style-type: none"> ・ 埼玉県（県庁は岩槻） ・ 入間県（県庁は川越） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2ページ目2行目「11月14日」に注目させる。 ・ 「埼玉」に「サイタマ」とフリガナがあることや県庁に注目させる。 	
「現在の埼玉県の範囲になるまで、どのように変わっていますか。」		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埼玉県と入間県が誕生（明治4年11月） ↓ ・ 入間県が群馬県と合併して熊谷県へ（明治6年6月） ↓ ・ 旧入間県が埼玉県と合併して現在の埼玉県へ（明治9年8月） 	資料【04-埼玉領域の変遷.pdf】 
10分	【その他の展開例】 ○埼玉県が誕生した当時の県令（初代～3代）の出身について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 初代 野村盛秀（薩摩藩士） ・ 2代 白根多助（長州藩士） ・ 3代 吉田清英（薩摩藩士） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治維新のころを埼玉県に注目して調べていくことで、当時の出来事をより身近に感じられるようにする。

資料について

埼玉県民の日（毎年 11 月 14 日）は、明治 4 年 11 月 14 日に埼玉県が廃藩置県によって誕生したことを記念し、昭和 46 年（1971）に制定された。

入間県は明治 6 年に群馬県と合併して熊谷県となる。その後、旧入間県は埼玉県と合併し、現在の県域となる。

埼玉県の県庁は資料に記載の通り岩槻に置かれることとなったが、業務は浦和の庁舎（旧浦和県庁舎）で行われていた。当時、浦和の庁舎が比較的大きな建物であったことや東京との連絡往来に便利であったことなどから、浦和において実質的な県庁業務が行われていた。明治 23 年（1890）に正式に浦和が県庁所在地となった。

準備

文書館のデジタル資料のダウンロード

埼玉県立文書館 TOP ページ <https://monjo.spec.ed.jp/>

TOP ページ → 「学校連携」 → 「授業サポート」 → 「明治時代の資料」 →

「廃藩置県と埼玉県の誕生」

01-廃藩置県（行政文書 明治 26）.pdf

02-廃藩置県（行政文書 明治 26）__書き下し文.pdf

03-廃藩置県（行政文書 明治 26）__解説.pdf

04-埼玉県域の変遷.pdf